

# 会報 かなづ

発行者：金津コミュニティ振興協議会  
発行人／青木貞義 編集／総務部  
URL：<https://www.kanazu.jp/>

## 事務局

住所 〒956-0847  
新潟市秋葉区古津 597 番地  
TEL 0250-25-1101  
メール [kanadukomikyo@tune.ocn.ne.jp](mailto:kanadukomikyo@tune.ocn.ne.jp)

## 金津地区人口

世帯数 2,957 戸 (2888 戸)  
人口 6,948 人 (6920 人)  
男 3,391 人 (3364 人)  
女 3,557 人 (3556 人)  
2021. 5 月末現在 (2020. 5 月)

## 金津コミ協

コミセン構内の除草及び花壇への花植えが終了しました。



6月13日(日)金津コミセン正面の花壇の除草作業及び、花壇の花植え作業に21名の方々の参加



を頂き終了しました。コミセンより「生活環境部員、事務職員、役員」、登録団体(4団体)「竹の子の輪」「ピンポンクラブ」「楽しい体操の会」「金津ジャズ愛好会」の皆さんでした。大変ありがとうございました。

## 図書室

読み聞かせの時間だよ！



本はこころの栄養です。絵本の読み聞かせはいかがですか？おとなも子どもも赤ちゃんも一緒に楽しみましょう。

- ◆日程：7月17日(土) 毎月第3土曜日
- ◆時間帯：午後2時～2時30分
- ◆場所：金津コミセン和室B
- ◆問合せ：新津図書館 金津よみきかせの会  
電話：0250-22-0097

## 金津コミ協

金津小学校2年生「校外活動」でコミセン見学実施！



6月8日(火)明るく元気な40名の生徒が、地域学習の一環としてコミセンに見学にきました。青木会長より「コミセン内施設の役割」や「地域にとって必要な施設」となる、ことの説明を受けた後、一生懸命メモをとっていました。その後、コミセン内



部を見て廻りました。大ホールでは「竹の子の輪」の皆さんと一緒に踊り、楽しい時間を過ごしました。ご協力を頂いた「竹の子の輪」の皆さんありがとうございました。

## 登録団体

「カーリンコン」競技  
私たちと一緒に楽しみましょう



床の上のカーリングと呼ばれるカーリンコンの体験会を開催します。ディスク的(ポイント)の近くに投げ、得点を競うゲームです。老若男女、年齢を問わずどなたでも楽しくできます。参加申し込みが必要です。当日は、自宅にて検温してからお越しください。

- ◆日時：令和3年7月17日(土) 9時30分～
- ◆場所：金津コミセン大ホール
- ◆参加費：200円/人
- ◆申込先：0250-23-3358 (関口さん)
- ◆申込締切日：7月12日(月)

## 文化教養部

第2回ふるさと塾「金津の里あれこれ」懇話会のご案内！

いったいどんな話題だろう？と思われた方は、是非、コミセンまで足をお運びください。

- ◆演題：「少し気になる話題」
- ◆日時：7月10日(土) 13時30分～
- ◆場所：金津コミセン中ホール



## 事務局

金津コミセン7月、8月  
「休館日」のお知らせ！

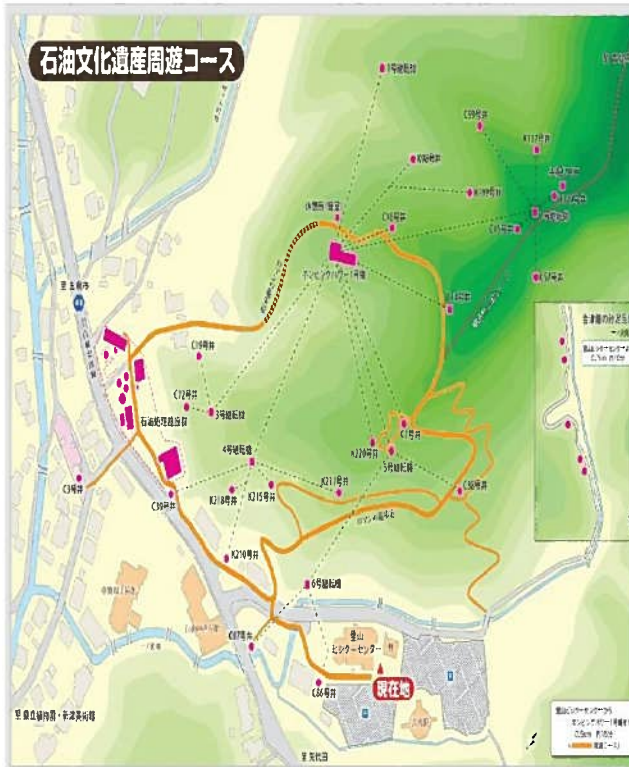


金津コミセン7月と8月「休館日」のお知らせです。通常体制、月曜日以外の休館日のご連絡です。

- ◆7月休館日は下記です。
  - ・7月22日(木)海の日
  - ・7月23日(金)スポーツの日
- ◆8月の休館日は下記です。
  - ・8月8日(日)山の日
  - ・8月13日(金)～16日(月)

## 金津コミ協

国史跡「新津油田金津鉱場跡」石油処理施設(その1)



- ◆「集油タンク(OIL accumulation tank)」  
集油所からポンプで送られた原油や石油井戸から



直接送られてくる原油が、集油タンクに集められます。原油は、この集油タンクから水切りタンクに送られ、水が取り除かれていきます。

## 金津コミ協

「クマ・イノシシなどの害獣対策」勉強会を開催します。



金津コミ協とあきは害獣対策プロジェクトでは、クマやイノシシなどの大型獣による農業被害や人的被害を防ぐため、勉強会を開催します。

- ◆日時：7月25日(日)14時～16時
- ◆受付：13時30分～
- ◆参加人数：先着80名 事前申込みは不要
- ◆会場：金津コミセン 大ホール
- ◆勉強会内容は下記です。

- ・県内の野生鳥獣の現状について

講師：一社 新潟県猟友会会長(池田富夫)氏  
・大型獣から地域を守るために

講師：NPO法人 新潟ワイルドライフリサーチ(今村 舟)氏

## 金津コミ協

「各村落の地名、各村落の歴史」東島、西島地名について

東島の妙蓮寺の創建が正応元年(1288年)、今から733年ばかり前に村落の存在したことが推察されています。

その頃は、「本条村島」と呼ばれ、本条因幡守の所領で島は東西に分離していませんでした。

島は従来一村であったが、慶長・元和のまじえる(1596年～1624年)頃、東西両部落に分立したものらしい、寛永(1624年～1645年)の頃に西島新田の開墾があったように伝えられています。(中野家文書より)

- ◆東島の開発年代は不詳ですが、妙蓮寺の創建が正応元年(1288年)であることから、733年ばかり前に村落は存在していたことが推察されています。本条因幡守は信州の出で菅沢村(現五泉市に編入)に館を築いていたが、後継者がなく滅んだと伝えられています。

- ◆西島の開発年代は不詳ですが、文禄検地帳に記載されていないことから、当時はまだ一村を形成していないことが推察されています。

正保2年(1645年)に作られた正保図に「西島村」「西島新田」と記載がされていた、ようです。

\*文禄検地とは、豊臣秀吉が行った検地です。